

あ ぼ し が わ
網干川

昭和の初めごろには、機帆船とよばれる焼き玉エンジンと起重機用マストがついた船が網干川を行き来し、石灰や醤油樽などを運んでいました。網干水門ができるまでは、洪水が起こったときは揖保川へ水を流していました。8月上旬に網干川祭りとして花火大会が開催されています。

行った日



う す き は ち ま ん じ ん じ ゃ つ み や
魚吹八幡神社(津の宮)
の 秋 季 例 祭

「網干」の地名は、津の宮の放生会で、村の漁師が生き物を殺すことを禁じて網を使わなかったことから名づけられました。今ではこの神社の祭りを網干まつりといい、毎年10月21-22日に近くの25の村が集まり、お旅提灯や檀尻、屋台を出し合っています。

行った日



か つ が い し ゅ う じ き ひ つ
勝海舟直筆の碑

船渡八幡神社の道をはさんで北側に網干町初代町長加藤邦太郎氏をたたえる石碑が建てられています。この石碑の題字は勝海舟の直筆です。海舟の部下だった網干出身の赤松則良が頼んで書いてもらったといわれています。

行った日



か と う け
加藤家

天領(幕府が支配する地)の蔵元であった加藤家は、商人の身分でしたが名字帯刀(名字をつけ、刀を持つこと)を許された家でした。古い文書がたくさん残っていて、中でも江戸時代に揖保川を使って物を運んでいたことについての資料はとても大切なもので、市役所の市史編集室に預けられています。

行った日



き ゅ う あ ぼ し き ん こ う ほん て ん
旧網干銀行本店

網干銀行は明治27年(1894)に事業を始めました。大正末期に本店を今の場所に移し、煉瓦建て銅板葺きの洋風本館を建てました。昭和40年(1965)に本館は銀行としての仕事を終え、今は空き店舗となっています。市の都市景観重要建築物等に指定されています。

行った日



う す き は ち ま ん じ ん じ ゃ つ み や し ゅ う き れ い さ い
魚吹八幡神社(津の宮)の秋季例祭



あ ぼ し ち く
38 網干地区

網干には江戸時代から明治時代にかけて活躍した人が残したり、産業の近代化をすすめた時にできた建物がたくさんあります。どんなものが調べてみましょう。



しらべたこと、
わかったことを
書いてみよう!



- 遺跡・史跡、歴史上の名所
- 神社・仏閣、歴史的建造物
- 歴史上の人物など
- 祭り、伝統行事
- 美術品
- 伝統芸能など
- 景勝
- 生物・花
- 町並み
- etc その他

0m 500m 1km

ぜん け い じ
善慶寺

明応元年(1492)に開かれたと伝えられています。江戸時代の中ごろに火事にあい、本堂は正徳2年(1712)に建て直されました。本堂の前には、安永10年(1781)の年号と船の瓦師の名が彫られた鬼瓦があります。裏には阿弥陀坐像と並んで、三界萬霊塔もあります。

行った日



い じ ん かん あ か や ね
ダイセル異人館(赤屋根)

明治43年(1910)、日本セルロイド人造絹糸株式会社に働く外国人技師の住宅として建てられました。デザインは19世紀のイギリスのコテージに似ていて、建物の外側などはアメリカのコロニアルスタイルと同じところがたくさんあります。市の都市景観重要建築物等に指定されています。

行った日



い じ ん かん み り か べ
ダイセル異人館(緑壁)

明治43年(1910)、日本セルロイド人造絹糸株式会社に働く外国人技師の住宅として建てられました。住宅としての利用が終わった後は、図書館やクラブハウスとして利用され、今はセルロイド資料館になっています。市の都市景観重要建築物等に指定されています。

行った日



と う こ う せ ん し ゃ ま こ と し じ ゅ く
稲香村舎 誠塾

慶応4年(1868)、河野鉄兜の弟・河野東馬がつけました。東馬は勤皇の志士で「蛤御門の変」の戦いに参加しました。江戸幕府が滅び、新政府ができましたが、新政府の招きを断り、網干で医者をしてながら稲香村舎(香邨書屋)を建て、その後、誠塾と名づけ、優秀な人を育てました。

行った日



ふ な と は ち ま ん じ ん じ ゃ わ か み や
船渡八幡神社(若宮)

余子浜の揖保川の土手を南に歩くと船渡八幡神社(若宮さん)があります。神功皇后が船をこのあたりにとめて、神楽を演奏されたことからこのあたりを「神楽岡」というようになったと伝わっています。また、この場所の南から東にかけては、堀川とよばれる船の停泊場がありました。

行った日

